

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2019-47933(P2019-47933A)

【公開日】平成31年3月28日(2019.3.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-012

【出願番号】特願2017-173584(P2017-173584)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月2日(2020.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の始動条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

所定条件の成立に基づいて、前記当り結果が導出される当り確率に関する設定情報を決定可能な特別モードを発生させる特別モード発生手段と、

前記特別モード中に所定の管理者操作を受けることによって、該特別モードの発生前に用いられていた当り確率と同一の当り確率に対応した設定情報を決定する特別決定手段と、

不正行為を検出可能な不正検出手段と、

前記不正検出手段によって不正行為が検出された場合に、不正報知を行う不正報知手段と、

を備え、

前記不正検出手段として、第1の不正行為を検出可能な第1センサ部と、第2の不正行為を検出可能な第2センサ部と、を有し、

前記特別決定手段により前記同一の当り確率に対応した設定情報が決定された場合に、前記第1センサ部と前記第2センサ部の両方での不正監視を行うことなく、前記第1センサ部と前記第2センサ部のうちの一方での不正監視を行う特定の不正監視状態に制御する不正監視状態制御手段をさらに備える

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、

所定の始動条件の成立に基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実

行する遊技機において、

所定条件の成立に基づいて、前記当り結果が導出される当り確率に関する設定情報を決定可能な特別モードを発生させる特別モード発生手段と、

前記特別モード中に所定の管理者操作を受けることによって、該特別モードの発生前に用いられていた当り確率と同一の当り確率に対応した設定情報（例えば設定1と設定1'）を決定する特別決定手段と、

不正行為を検出可能な不正検出手段と、

前記不正検出手段によって不正行為が検出された場合に、不正報知を行う不正報知手段と、

を備え、

前記不正検出手段として、第1の不正行為を検出可能な第1センサ部（例えば磁気センサ3003）と、第2の不正行為を検出可能な第2センサ部（例えば振動センサ）と、を有し、

前記特別決定手段により前記同一の当り確率に対応した設定情報が決定された場合に、前記第1センサ部と前記第2センサ部の両方での不正監視（例えば不正監視A）を行うことなく、前記第1センサ部と前記第2センサ部のうちの一方での不正監視（例えば不正監視B）を行う特定の不正監視状態に制御する不正監視状態制御手段をさらに備える

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記構成では、同一の当り確率に対応した設定情報の有効活用を図ることが可能となる（例えば、段落1771や1781の記載を参照）。